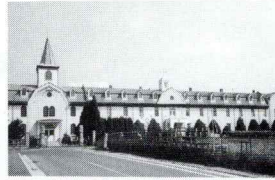


北辰

TOKYO

岐阜県立多治見北高等学校同窓会

東京支部会報 創刊第10号



平成8年10月1日

発行人 鈴木 満

総会・パーティにぜひご出席を

東京支部の活動のあらまし

会長 鈴木 満

(桐陰学園横浜大学教授)

多治見北高等学校同窓会東京支部の会員のみなさん、お元気ですか。

今年も、また、東京支部の総会のシーズンがやってきました。

今年は、1990年(平成2年)に始まった東京支部総会の第7回目ということになります。したがって、今年は7回生・17回生・27回生の方々が年度幹事となっています。年度幹事は、すでに何回か集まって、楽しい会合になるよう企画を練ってくれています。

さて、東京支部の内容・活動について紹介させていただきます。

【会員数】 多治見北高等学校は、昭和33年に設立された比較的新しい学校ですが、同36年に第1回生が、今年4月には第36回生が卒業しました。この間、のべ1万名余の卒業生を世に送り出したこととなります。このうち、東京を中心とする首都圏には、(正確な数は、モビリティが高くて把握できませんが)その約1割の千名余の方々が在学・在職・在住しているものと思われます。

【会費の納入状況等】 東京支部では、可能な限り会員の動向を把握しようと努力していますが、住所等を正確に把握できているのは600名程度です。この方々に会報(北辰TOKYO)と総会・パーティのご案内をお送りし、併せて会費(年間3千円)の納付をお願いしています。このうち、会費を納めていただいているのが、約230名(この方達には名簿を差し上げています)で、総会に出席されるのがこの半数の100~120名ぐらいです。

【今後の課題】 会員をより正確に把握すること、会費の納付率および総会への出席率を高めることが今後の課題です。

【役員会の内容】 役員としては、総会で選出される会長、副会長のほか、事務局長、会計幹事、各回生ごとに選任された理事がいます。役員の総数は約70名に上ります。

役員会は、年4回開催されます。1回目の役員会は、毎年2月に行われ、新年会を兼ねて、今年度の東京支部の活動方針などについて話し合われます。第2回目は、毎年7月に行われ、年度幹事が企画した原案に基づいて、総会の

日時、場所、総会の際に行われる「北辰TOKYOカルチャーフォーラム」の内容が審議され、決定されます。会報の内容についても話し合われます。第3回目の役員会は、総会、フォーラム、パーティの最終確認と、会報および総会の案内状の発送作業が行われます。第4回目の役員会は、総会に先だって行われます。ここでは、総会に提出する会計報告、予算案などについて最終チェックが行われます。なお、役員会には毎回25名前後の方が出席しています。

以上、東京支部の活動を紹介させていただきました。実に多くの方々のボランティアによって、この東京支部が支えられていることがお分かりいただけたことと思います。この努力も、多くの方々が総会・パーティに参加していただくことで報われるのです。この11月9日の土曜日に開催される総会・パーティには、みなさんぜひ参加してくださいようお願いいたします。

拝啓、同窓生諸兄殿

当節台湾事情

大嶽節洋(7回生・カゴメ勤務)

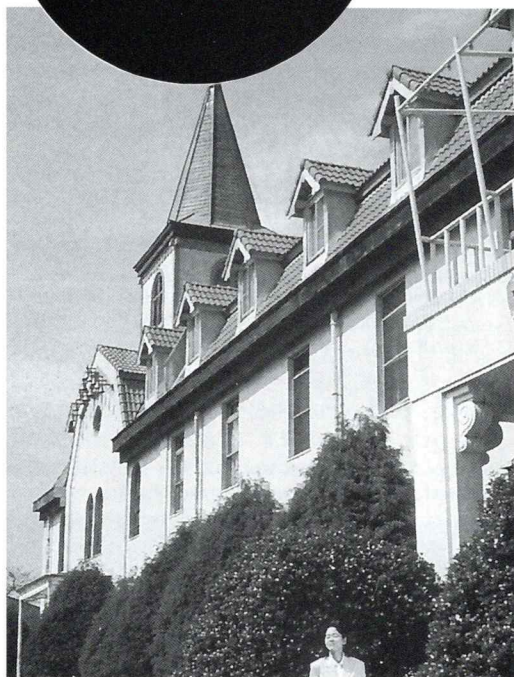
早いもので、ここ台湾での生活はこの六月で満一年を経過しました。赴任に際し、7回生諸兄には挨拶もせず、大変申し訳なく思っておりましたところ、この度「北辰」へ近況報告をさせて戴く機会を得ました。

私はここ台湾可果美(カゴメの中文名称)には二度目の出向となりました。今から21年前、26歳の若輩者を受け入れてくれた台湾は、文字通り大変貌、この地で生まれた次男は、もう大学二年になってしまいました。先の帰国から17年もの長い時間が経って、言葉の不安や何やかやで、この赴任には緊張感がつきまとっています。

大変貌の代表は、当時からは信じられない位の経済発展

修道院

修道院と虎溪山。北高生なら誰もが一度は訪れたことがあると思います。ここでは1回生の新井さんにあらためて紹介してもらうことにしました。さあ、もう一度あの頃にタイムスリップしてみませんか。



1930年昭和5年、神言会、日本管区長モール神父（ドイツ人）により、日本人の司祭と修道士の養成の為に建設されました。

地上3階、地下1階の木造建築で、日本の三大修道院の1つに数えられています。地下室は周囲の1ヘクタール余りの畑で穫れる葡萄を使って造るワインの醸造にも使われております。

昭和34年の伊勢湾台風折に、大きな被害を受けて使用出来なくなり、27年間、半ば放置された状態で壊される運命にありました。昭和52年頃、多治見JICが中心となり、保存修復を市民に呼びかけ、多治見修道院コンサート、ぶどう祭等を企画し、募金活動が行なわれ、昭和54年9月、屋根瓦の修復と共に、聖堂玄関のカリヨン設置、修道院の創立50周年を記念して、名古屋南山教会のパイプオルガンを譲り受け、従来のパイプオルガンと合体修復し、現在のパイプオルガンと成った。

平成元年、修道院の裏に3棟のログハウスが建てられ、宿泊の出来る研修センターと成っている。また、平成2年より、夜間のライトアップも成され、R19号より見る景観は、幻想的なものである。

経済的な要因も有って敷地の売却等も行われ、北高生には懐かしい、ルルドのマリア像周辺の様変わりも、時代の変化を思わせる。

です。かつてNIES諸国の一つとして世界から注目を集めていましたが、台湾は更に発展し、この極東地域で重要な地位を築き上げました。ここに来て見ての率直な感想は「みんなが金持ちになったなあ」ということです。

その象徴は、急激に『車社会』になったということと、女性ドライバーが増えたことです。但し極端な交通マナーの悪さは、相変わらずですが…。また台北・高雄の大都会では、日本からの百貨店が出店攻勢をかけていますし、町の通りには、セブンイレブン・ファミリーマートが目立ちます。勿論マックやケンタッキーも真っ盛りです。お金を出せば、何でも手に入れることのできる国になってしまったんです。ここに至って、少しは停滞しましたが、消費花盛りの高度経済成長時代を彷彿させる今日この頃です。

ここ五年間程ですが、台湾の自由化と民主化への変化にも、目を見張るものがあります。長い間、政治批判や集会、労働運動はタブーだったんですが、今日の台湾では往時の厳しさは影も形もありません。大戦と日本統治が終了し、中国大陸から来た国民党支配と2・28事件の勃発、これを引き金に長い間戒厳令下に遭った国です。隣り合う中国との緊張関係もほんの少し前まで続いていたんです。今日は

ど言論や政治活動の自由を謳歌し、民主国家として変貌している現在を、誰が予想できたでしょうか。

逆に国民が余りにも急激な自由化と民主化に戸惑っている一例として、国会内での殴り合いや女性議員同士のとっくみ合いが日常茶飯事で起こっていますが、これは日本でも報道されている通りです。本人達は、ごく真剣に取り組んだ結果なんだそうですよ

この三月に行われた総統選挙、ご存知ですね。そう中国からミサイル攻撃という威嚇を受けた時のことです。国の大統領を民選するという（当然なことなのに）中国史上初の出来ごとでもあったんです。この選挙では驚くべきことに、総統候補者四人の内、三人迄もが相当の日本語を話す人達でした。しかも彼等の語学力の水準は我々よりも正確なことです。何故喋ることができるかと言うと、かつての植民地時代の日本教育にあったわけですが、50年もの領台時代は、多くの台湾人を苦しめてきたわけで、『ある種の借り貸し』が日台間に存在します。こんなことから、ここの人達の率直な気持ちを代弁すると『せめて、この総統選挙を日本が後方支援してくれてもいいんじゃないか。中国の選挙妨害をもっと強硬な姿勢で牽制できる筈だ！』と。或い

虎溪山



一般には虎溪山の名前で親しまれておりますが、正式には、臨済宗南禅寺派、虎溪山永保寺と称します。

現在も信仰と観光の両面により多くの参詣者があります。臨済宗の修行道場としても有名で、現在も20余名の若い雲水が日夜、修行に励んでいます。



は、『米国は体を張って、台湾海峡の安全と中国への警鐘のため、二隻の空母を派遣したじゃないか』とね。これ台湾の日本へのフラストレーションなんですよ。これに限らず、この種の対日不満をよく耳にします。

台湾をして、こんな風に例えることができると思います《親(義母=日本)に捨てられた子は、継母(戦後支配を始めた国民党)の苛めに耐えて、遅く育ちましたが、どうにも世の中(世界)に認知してもらえない。そこでこの子供は、強い経済力を背景に、必死で自己主張を始めた》とこの子供の言い分には、道理があるように思いますが…。

折角ですから、少しだけ近況を。私の住むここ台南市は、嘉南平原南部に位置し、2月から11月までが夏です。今、久しぶりの夕立が心地よい冷気を運んで来ています。感覚的に言うなら、京都にも似た歴史の街、田舎っぽさもあって、日本にはないゆったりとした生活を楽しんでいます。単身赴任ですが、『ここで生きて行く』という気持ちさえ定まれば、洗濯・炊事は何の苦勞も感じません。気になる物価も、そう日本の半分位でしょうか。『実質所得』って概念(難しく言えば購買力平価なんて言ってるけど)は外国に住んでいないと分からないんじゃないでしょうか。そうそ

う、ここ台湾ではモノの価格にシビアな側面があります。値切るのは常套、言ってみて、ダメでもともと。チョット『けち』とは違う概念ですね。

なお仕事にも励んでいますから、他人事でしょうがご安心あれ。ここにはキチンと確保された市場や品質を背景の信用があり、従業員がいてくれて、30年の長きに亘るパートナーに恵まれてと、ありがたいことづくめです。

最後に一つ、言葉の問題です。前回のレベルに達することが精一杯なんです。憶えても憶えても、すぐ忘れる今。そうだ、あの時は若かった、だから中国語がなかなか記憶から去らないんだって。あの時もっと貪欲に中国語をマスターしておけばよかったと。

このことを僕の苦い経験として、今の若い人達に伝えたい。言葉の壁は若い時にこそ除くことのできるものだ。また、これからはバイリンガルの時代だね。

一昨日、ついに日本からシニアグラス(老眼鏡入りの遠近グラス)が送られて来ました。先の五月に帰国した折、女房から、『諦めなさいよ』と一喝され、造ったものです。

諸兄殿いよいよ来るべきものが来た実感していますよ。

敬具

都(みやこ)づくりについて

岐阜県土岐 県事務所長 棚橋 普

今、県下では、いろいろな都(首都)づくりをめざして様々な取り組みがなされております。

「花の都」、「世界陶磁器文化首都」、「世界民俗文化首都」、「世界ファッション文化首都」、「道の文化首都」など都(首都)づくりのオンパレードです。

都といえは、すぐに「花の都・パリ」という言葉を思い出します。これは、むしろ「華の都・パリ」と表記したほうがいいのかも知れませんが、一種の憧れの気持ちも含みながら、いろいろなもの(産面でも、文化面でも)が開いたまちという意味に理解しております。

「花の都ぎふ」づくりでの「都」は、別の言葉で言えば「中心」ということでしょうか。「花かざり」、「花づくり」の中心の地になろうということ

です。あまり知られておりませんが、岐阜県は「花づくり」に関しては日本の中でも先進県です。バラ、シクラメン、セントポーリア等日本一です。このことを県民の皆様方に知ってもらい、もっと「花づくり」、「花かざり」を盛んにし、花卉産業の振興はもとより、ゆとりをもって生活を楽しむことができる「日本一住みよいふるさと・ぎふ」をめざそうとするものです。「花の都ぎふ」づくりをはじめ「都(首都)づくり」は、岐阜県の姿を、実際に、県民の皆さんによく知ってもらい、理解をしてもらい、そして重要なことは「自信」をもってもらい、それぞれの目標に向かって頑張ろうということを象徴的に表現したものです。

さて、我が東濃西部地区での首都づくり「世界

陶磁器文化首都」でありませんが、千数百年にも及ぶ歴史と伝統に培われた素晴らしい美濃焼を、焼物に具現化された文化を地域の人々はもとより、岐阜県民がよく理解をし、自信をもって二十一世紀に向けて更なる発展をめざそうとするものです。

この首都づくりの柱となる「国際陶磁器テーマパーク(仮称)構想」であります。このほど、その相談も調い、2000年の部分開園をめざして大きな一歩を踏み出しました。

まだ素案の段階ですが、①国際陶磁器フェスティバルなどが開催できるメッセ、②陶磁器美術を主体とした国際的美術館、③陶芸家及び幅広い分野の芸術家などが交流できる工房、④世界陶磁器文化体験ゾーン、⑤レフリーエーションゾーンなど、世界を代表する美濃焼産地にふさわしい魅力溢れるテーマパークとしたいものです。県民の皆さんの御意見・アイデアをお

聞かせ下さい。

最後に、文字どおりの「首都」づくりであります。

「東京から東濃へ」をキャッチフレーズに岐阜県東濃地域へ日本の首都機能を誘致すべく積極的な取り組みがなされております。今のままの東京を誘致するのではなく、地域の社会や自然との調和を第一義とした新しい姿の首都にしようとするものです。これを機にこの地域の、岐阜県の更なる発展を願うものです。ご理解、ご協力をお願い致します。

☆☆☆☆

★この記事は、平成8年8月30日付『東濃新報』より転載させていただきました。

第7回東京支部総会 懇親会のご案内

- ▶日時 平成8年11月9日(土)
午後3時～7時(2時30分開場)
●総会 15:00～15:30
●フォーラム15:30～16:30
●パーティ 17:00～19:00
- ▶会場 芙蓉銀座クラブ TEL.03-3535-2441
東京都中央区銀座2-2-2 新西銀座ビル
- ▶懇親会費 一般 7,000円
学生 4,000円(新卒生は無料)

尚、当日ご出席の場合は、年会費を併せてご入金いただきますようお願いいたします。(一般3,000円 学生1,000円)

当日、小芝同窓会長、母校より出村校長先生、川合孝哉先生、伊藤信子先生、有賀欣哉先生、西寺多治見市長をお迎えいたしますのでご歓談いただきたく存じます。

今年のフォーラムは、上田能敬氏(7回生)をお願いいたしました。

「上田式蘭(らん)基礎講座」という演題でお話いただきます

上田氏は趣味として蘭の栽培では15年来の経験者で、現在「全日本蘭協会」の常任委員を勤めておられます。

尚、当日は蘭の即売会を企画しています。上田氏のご厚意によりお買い得品を出品しますのでご期待ください。

又、17回生の川人さんは声優(芸名水原リン)であり、アニメの番組に出演されており、その関係でドラえもん・クレヨンしんちゃん等のアニメに人気声優のサイン入り色紙をオークションで販売する予定です。年頃のお子さんをお持ちの方は是非ご期待ください。

上記収益金は、同窓会運営資金に寄贈される予定です。

